

災害時も、誰もが安心して過ごせるように

「名張特別養護老人ホーム」で福祉避難所開設訓練を実施 (1/27)



市 HP



① 美旗市民センターで要配慮者に保健師やDWATが聞き取り



② 福祉避難所の施設では、段ボールベッドを準備



③ 施設の受付で、要配慮者の体調をホワイトボードに記入し受け入れる



④ 参加した三重大学の水木准教授からは「連携・対応が素晴らしい」との高評価を受けた

災害時に、高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、難病患者など、特別な配慮を必要とする人(要配慮者)を一時的に受け入れる「福祉避難所」が市内に17カ所あります。限られた人員と物資で高度な介護やケアを提供していく必要があるため、自治体や福祉施設、医療機関、地域住民などの連携は極めて重要となります。

1月27日には、福祉避難所での受け入れ訓練を「名張特別養護老人ホーム」で実施。施設の職員など約70人が参加しました。今年度は、市の保健師、県のDWAT、施設の職員などと幅広く連携し、受け入れ手順などを確認しました。今後も引き続き訓練を実施し、官民が協力して有事に備えられるよう、取り組んでいきます。

※ DWAT…大規模災害時、避難所などで要配慮者に対して支援を行う福祉の専門職(社会福祉士、介護福祉士、保育士など)のチーム

名張のために「ばりっ子」が言いたいこと「ポイ捨てやめて！」

「ばりっ子会議からの市政への提言書」 提言式 (1/31)

「こんな名張になればいいな」と子どもたちで話し合う「ばりっ子会議」。今年度は29人の子どもたちが参加し、1月31日、「みんなで力を合わせて、ごみのないきれいなまちに」と、市長に提言しました。

「ばりっ子会議」の活動の中で、たばこの吸い殻やペットボトルなどをたくさん拾ったそうです。「ポイ捨てをやめてほしいので、ちゃんと広報にも書いてほしいわ～」との声をいただきましたので、ここでしっかり訴えてもらいます。皆さん、子どもたちの声が届きましたか？



ばりっ子会議考案
なばりん

**ごみはごみ箱に
捨ててや～!**

ごみ箱が無かったら、
家に持って帰ってよ!

**ポイ捨てはバツやで!
ほんまやめて～!**

不法投棄は犯罪! 罰金もあるで

**ごみが落ちてない
名張にしたいやん!**

大人も子どもも協力しよな!

